

1 題材名 「でこぼこもよしのなかまたち」

2 題材の目標

- 身の回りにある材料から版をつくったり、版を紙に写したりすることに関心を持ち、絵に表すことを楽しむようにする。(造形への関心・意欲・態度)
- 様々な材料の形や手触りなどから版を考え、紙に写すことから絵に表す発想を広げたり、構想を練ったりすることができる。(発想や構想の能力)
- 材料や色の組合せなどを考えながら版をつくったり、写したりするとともに、物語に合った背景の表し方を工夫することができる。(創造的な技能)
- 友だちや自分の作品についての形や色、表し方のよさや面白さを味わうことができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作科の第3学年及び第4学年A表現(2)イ「表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。」ならびに、(2)ウ「表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。」に対応した題材である。具体的な活動としては、身の回りにある段ボールや梱包材などの凸凹のある材料から版をつくって画用紙に写し取り、それを物語の主人公として、背景を絵の具でかき加えることで自分なりのストーリーを表現する。身近にある材料の形のよさや面白さ、手触りなどに気付き、想像したことを基に、自分なりの表現を楽しみながら学習できる題材である。

(2) 児童の実態

アンケート調査では、図画工作の時間にもものをつくったり、絵をかいたりすることが好きと答えた児童は、学級の\*人中\*人、ふつうと答えた児童は\*人で、嫌いと答えた児童はいなかった。このことから、図画工作における造形活動への意欲は高いことが分かる。しかし、発想や構想に関する意識調査では、つくりたいアイデアが、すぐ思い付かないとする児童も\*人ほどいた。思い付かないと答えた児童は、教科書の手本を見て、似たような発想で終わってしまったり、好きなキャラクターを描きたがったりする様子も見られ、題材のねらいから離れてしまいがちである。

(3) 指導観

児童の実態を踏まえ、本題材では、扱う材料に丁寧に向き合い、自らが感じたことやイメージしたことをしっかりと意識できるような活動を設定する。児童にとって、さまざまな形、カラフルな色をした材料はとても魅力的であるが、身近にあるものについては、その形の面白さや手触りなどに気付かないことも多い。今回、身の回りにある材料を使って版をつくる上で、材料の特徴をじっくりと味わいながらそのよさや面白さに気付き、多様な表現ができることを感じ取らせたい。そのために、題材の導入段階で、材料を見たり触ったりする時間を十分に取るとともに、児童同士で感じたことや考えたことを伝え合う時間を取ることで、自分の考えを明確にしたり、新たなアイデアを思い付いたりすることができるようにする。また、版をつくって紙に写し取る段階では、版の向きや色を変えることで作品の印象が変わることに気付かせるとともに、何度も試し刷りをすることで表現への思いや考えがふくらむようにする。

4 学習計画(6時間計画) 本時は○

次	時	学習活動	関	発	技	鑑	学習活動に即した評価規準(評価方法)
1	①	・版をつくる材料を見たり、触ったりしながら、版づくりのイメージをもつ。 ・材料を組み合わせながら、版をつくる。	○				・身の回りにある材料から版をつくることに関心を持ち、材料の形や手触りなどから版づくりのイメージをもとうとしている。(観察, ワークシート)
	2			○			・様々な材料の形や手触りなどから発想して版の構想を練っている。(観察, 作品)

2	3 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の形や手触り，写すときの色や位置などを工夫したり，物語を考えたりしながら版を紙に写す。</li> <li>・思いに合わせて新しく版をつくったり，友だちと版を交換したりしながら紙に写し，背景をかき加える。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な材料の形や手触りなどから版を考え，紙に写すことから発想を広げたり，構想を練ったりしている。 (観察，作品)</li> <li>・材料や色の組合せなどを考えながら版をつくったり，写したりするとともに，物語に合った背景の表し方を工夫している。(観察・作品)</li> </ul>
3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を鑑賞し合う。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちや自分の作品についての形や色，表し方のよさを味わっている。 (発表，ワークシート)</li> </ul>

## 5 本時の学習

### (1) 目標

身の回りにある材料から版をつくることに興味をもち，材料の形や手触りなどから版づくりのイメージをもとうとする。

### (2) 準備・資料

身の回りで凸凹のある材料，水彩絵の具，「ひらめきビンゴ」ワークシート

### (3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 ◎評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろな材料を見たり，さわったりしながら，物語の主人公のつくり方を考えよう。</p> </div> <p>2 材料を見たり触ったりしながら選び，スタンプングで付箋に模様を写し取る。</p> <p>3 使いたい材料を一つ決めて，版をつくる時にどんな使い方ができるか考えて，「ひらめきビンゴ」ワークシートに書き込む。</p> <p>【予想される児童の反応】</p> <p>① 四角いボコボコがならんでいるから，亀の甲羅に使えるかも。</p> <p>② レースは，チョウチョの羽に見える。</p> <p>③ 網は，洋服の模様みたい。</p> <p>4 「ひらめきビンゴ」ワークシートを交換しながら，友だちが選んだ材料に対する自分の意見を書く。</p> <p>【予想される児童の反応】</p> <p>① 四角いボコボコがならんでいるから，亀の甲羅に使えるかも。</p> <p>→丸く切ると，蜂の巣にも見えるよ。</p> <p>② レースは，チョウチョの羽に見える。</p> <p>→細長く切ったら，バッタの羽にもなりそうだね。</p> <p>③ 網は，洋服の模様みたい。</p> <p>→麦わら帽子にもなるかな。</p> <p>5 どんな考えが出たか，発表する。</p> <p>6 本時を振り返り，次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材では，絵の主人公を版で表すことを伝える。</li> <li>・本時は，「ひらめきビンゴ」ワークシートを使って，材料の特徴をたくさん見付けていくことが，絵の主人公をつくる材料探しになることを伝える。</li> <li>・最初からつくりたいものを考えるのではなく，材料を見たり触ったり，写し取った模様からつくれそうなものを考えるのが大切だと伝える。</li> <li>・材料について，自分で思い付いたことは，進んでビンゴのマスに書き込んでいくように声をかける。</li> <li>・自分で埋められなかったマスには，友だちから意見をもらい，ビンゴクリアを目指すことを伝える。</li> <li>・自分の意見が出なくなってしまった児童には「切ったら○○になりそう」「○色で写せば，▲▲に見えるかも」のようにアイデアが広がるように声かけをする。</li> <li>・友だちが発見していない材料の見え方や考え方について，積極的にマスに書き込んでいくように声かけをする。</li> <li>・友だちのワークシートを見て，よいと思う考え方があれば，自分の考え方に付け足してもよいことを伝える。</li> </ul> <p>◎ 身の回りにある材料から版をつくることに興味をもち，材料の形や手触りなどから版づくりのイメージをもとうとしている。 (観察，ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で，どんな発見があったかを共有し，版をつくる上での新たな発想につなげていくように声かけをする。</li> <li>・本時の取組のよかったところを称賛し，学んだことを次時からの版づくりに生かしていくように声かけをする。</li> </ul>

# ひらめき BINGO

なまえ \_\_\_\_\_

- ① まん中の  に,使ってみたいざいりょうをスタンプする。
- ② まわりのマスに,どんなものに見えるか自分の考えを書く。
- ③ うまらないマスには,友だちの考えを聞いて,書いてもらう。



まわりのマスが,自分の考えや友だちの考えで,

ぜんぶうまれば…BINGO!!

	使いたい材料をスタンプ!	